

英語科

1 学習の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

2 学習内容

裏面参照

3 評価の方法

評 価 の 観 点		評価対象
観点	達 成 目 標	
知識・技能	英語で話したり、書いたり、聞いたり、読んだり、発表したりすることができる。	・評価テスト ・パフォーマンステスト
思考・判断・表現	英語の知識や技能を活用して、課題を解決するための思考力や判断力などを身につけられている。	・評価テスト ・ノートやレポートの作成 ・話し合い
主体的に学習に取り組む態度	授業中の様子や知識・技能を習得したり、思考力などを身につけたりするために、学ぼうとしている。	・授業中の取組 ・ノートやレポートの記述 ・自己評価カード

○英語は3つの観点（A・B・C）で評価をつけます。基準は授業で説明します。

○評定（5・4・3・2・1）は評価の結果により決まります。

○評価対象は代表的な例です。授業で詳しく説明します。

4 授業の約束

- ①先生やALT、友達の話を中心して聞き、理解しましょう。
- ②英語は「ことば」です。積極的に英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりしましょう。
- ③自分で気づいたことをノートに工夫してまとめましょう。
- ④自己評価カードなどを使って、学習の到達度や振り返りをしましょう。

5 自主学習のすすめ

- ①授業で学習したことをノートやワークで確認し、繰り返し復習しましょう。
- ②評価テストで間違えた問題は復習し、できるようにしましょう。
- ③日頃から問題集を解いたり、自己テストをしたりするとよいでしょう。

令和5年度 第1学年 英語科

学期	月	(教材名) 学習内容	主な学習活動	主な言語活動
1	4	Get Ready アルファベットを確かめよう	<p>○主体的に学習に取り組むために</p> <p>課題やテーマに沿って相手と簡単な会話をしたり、短いスピーチをおこなったりします。話し手は聞き手に配慮しながら伝えるようにします。話す内容や速さ、声の大きさに気をつけましょう。会話の続かない相手には少しでも英語で話ができるよう、教えあいをしましょう。また、自分の学習状況(何を学習し、どこまで理解しているか)を把握し、学習の進め方を工夫しましょう。</p> <p>○話す力、書く力を身につけるために</p> <p>課題やテーマに沿って相手に伝えられるよう、身近で簡単な事柄について、自分の考えなどを書きます。間違いを気にせず自分の書きたいことをたくさん書けることを目標としましょう。そして書いたことや今まで習ったことを活用して、ためらわずに話してみしましょう。</p> <p>○聞く力、読む力を身につけるために</p> <p>日常的な話題について文章全体の大まかな内容を把握する力を身に付けましょう。1語1文に固執せず、全体のあらすじや書き手が伝えたいことは何であるか、何が最も重要な情報かを判断することが大切です。</p> <p>○語彙力をつけるために</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだ自己紹介の表現を活用し、好きなものやできることなどを聞き取り合ったり、伝えあったりする ・自分の好きなものやできること、行きたい国を言う ・what を用いて好きな食べ物などについて会話をする ・年齢や電話番号、値段などについて聞き取ったり、伝えあったりする ・can, can't を用いて、できること、できないことを発表する ・Can you~? を用いてできることを尋ねたり、答えたりする ・be 動詞を用いて、簡単な自己紹介を聞き取ったり、相手のことを尋ねたりする ・Whose を用いて持ち主を尋ねたり、答えたりする ・自分のことについて、3~5文程度のまとまった文章を書く
	5	友達を作ろう 数の言い方 1-Bの友達		
	6	曜日と天気の違い タレントショーを開こう		
	7	あなたの知らない私 Let's Enjoy Japanese Culture		
2	9	Junior Safety Patrol 季節や月の言い方	<p>○聞く力、読む力を身につけるために</p> <p>日常的な話題について文章全体の大まかな内容を把握する力を身に付けましょう。1語1文に固執せず、全体のあらすじや書き手が伝えたいことは何であるか、何が最も重要な情報かを判断することが大切です。</p> <p>○語彙力をつけるために</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・代名詞 he/she を使って、第三者のことを表現する ・1人称の文を3人称に書き換える ・友達を紹介し合う ・季節や月の言い方を知る ・代名詞 him/her を使って好きなキャラクターの家族などについて聞き合ったり、書いたりする ・Why? とたずねて Because で理由を答える ・現在進行形を用いて、だれが何をしているかを表現したり、尋ねたり、答えたりする ・オーストラリアについて知るために、オーストラリアに関する会話文の要点をとらえる ・5W1Hの疑問詞をまとめる ・時刻を尋ねたり、答えたりする ・疑問詞 where を用いて住んでいる場所を尋ね合う ・道案内の場面で使われる特有の表現を用いて、目指す教室への行き方を会話する
	10	The Way to School 道案内をしよう 店内放送を聞こう 順番・日付の言い方		
	11	Research on Australia		
	12	〇〇さんを紹介しよう この人を知っていますか The Year-End Events		
3	1	Trip to Finland	<p>音声や単語、表現、文法、言語の働きなどを理解するためにも毎時間の授業で復習や会話をを行います。また、定期的にスペコンを実施します。そこで得た知識を使って文を書いたり、相手に伝えたりすることができるようにしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に自分がしたことを表現する ・過去にしたことについて、相手に尋ねたり、答えたりする ・昨日自分がしたことなどを自由に書く ・自然な会話の流れの中から会話をつなぐ表現を読み取ったり、その働きを答えたりする ・思い出の出来事や自分の好きなものを伝えるために、自分の考えや気持ちを整理し、写真や絵を示しながら英語でスピーチをする ・手紙で使う表現を身に付け、簡単な英文を使って手紙を書く
	2	Grandma Baba's Warming Ideas!		
	3	私が選んだ1枚 絵はがきを書こう		